

中学校

平成28年度全国学力・学習状況調査の
結果をふまえた指導改善策

I 調査の概要

1. 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 上記のような取組みを通して、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査の対象

中学校第3学年の生徒

3. 調査の内容

- (1) 教科に関する調査（国語、数学）
 - ・主として「知識」に関する問題（A）
 - ・主として「活用」に関する問題（B）
- (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - ・生徒に対する調査
 - ・学校に対する調査

4. 調査日時

平成28年4月19日（火）

II 学力調査の結果【中学校】

1. 教科に関する調査結果(平均正答率※)

1.	国語A	国語B	数学A	数学B
全国	75.6	66.5	62.2	44.1
広島県	76.6	67.9	62.1	44.8
府中市	77.4	69.6	64.5	47.4
第一中学校	77.0	68.1	60.3	43.5

※平均正答率とは、「生徒の正答数の平均」÷「設問数」の値を、%で表わしたものです。

2. 調査問題の趣旨・内容

区分	調査問題の趣旨・内容例
国語A (33問)	<p>基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題</p> <p>(例) ○全体と部分との関係に注意して話を構成する ○伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く ○文章の構成や展開について自分の考えを持つ ○語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う</p>
国語B (9問)	<p>基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題</p> <p>(例) ○目的に応じて必要な情報を読み取る ○文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書く ○目的に応じて文章を要約する ○本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く</p>
数学A (36問)	<p>基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題</p> <p>(例) ○数量の関係を文字式に表すことができる ○見取図に表された立方体の角の大きさの関係を読み取ることができる ○一次関数のグラフの特徴について、表と関連付けて理解している ○測定値が与えられた場面において、近似値と誤差の意味を理解している</p>
数学B (15問)	<p>基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題</p> <p>(例) ○適切な事柄を判断し、その事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明することができる ○筋道を立てて考え、証明することができる ○与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる ○資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる</p>

3. 調査結果にみられる特徴と課題

【国語】

学習指導要領の領域	区分	特徴と課題
話すこと 聞くこと	A問題 (知識)	◇相手や場に応じた言葉遣いに気を付けて話すこと。(A 5一 95.5%) ◆互いの発言を検討して自分の考えを広げること。(A 7二 57.4%)
	B問題 (活用)	

書くこと	A問題 (知識)	◇伝えたい内容が相手に効果的に伝わるように書くこと。(A 2ー 84.5%) ◆文章を読み返し、文の使い方に注意して書くこと。(A 4ー 69.0%)
	B問題 (活用)	◆根拠を明確にして自分の考えを書くこと。(B 3三 61.9%)
読むこと	A問題 (知識)	◇文脈における語句の意味を理解することや、登場人物の言動の意味を考え、内容を理解すること。(A 3二 91.0%、A 3ー 87.1%) ◆課題の解決に必要な情報収集し整理すること。(A 6二 69.7%、A 8二 69.7%)
	B問題 (活用)	◇目的に応じて必要な情報を読み取ること。(B 1二 81.9%) ◆課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考えること。(B 2三 50.3%)
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	A問題 (知識)	◇文脈に即して漢字を正しく読むこと。(A 9二 198.7%) ◆文脈に即して漢字を正しく書くこと。(A 9ー 220.6%)
	B問題 (活用)	

◇…相当数の生徒ができている点 ◆…課題のある点

【数学】

学習指導要領の領域	区分	特徴と課題
数と式	A問題 (知識)	◇…1(3) 正の数と負の数の加法の計算ができる。(92.3%) ◆…2(1) 数量の関係を文字式に表わすことができる。(36.8%)
	B問題 (活用)	◇…6(1) 問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる。(75.5%) ◆…6(2) 与えられた式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明することができる。(10.3%)
図形	A問題 (知識)	◇…5(1) 空間における直線と直線との位置関係(辺と辺とがねじれの位置にあること)を理解している。(85.2%) ◆…4(1) 垂線の作図の方法について理解している。(32.3%)
	B問題 (活用)	◇… ◆…4(1) 筋道を立てて考え、証明することができる。(21.3%)
関数	A問題 (知識)	◇…9(1) 比例の関係を表す表から変化や対応の特徴を捉え、 x の値に対応する y の値を求めることができる。(89.0%) ◆…10(3) 一次関数のグラフから、 x の変域に対応する y の変域を求めることができる。(30.3%)

	B問題 (活用)	◇…3(1) 与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる。(67.7%) ◆…2(2) 加えるべき条件を判断し、それが適している理由を説明することができる。(21.3%)
資料の活用	A問題 (知識)	◇…13(2)簡単な場合について、確率を求めることができる。(79.4%) ◆…12(2)測定値が与えられた場面において、近似値と誤差の意味を理解している。(31.6%)
	B問題 (活用)	◇…5(1) 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。(69.0%) ◆…5(2) 与えられた情報から必要な情報を選択し、数学的に表現することができる。(49.0%)

◇…相当数の生徒ができています点 ◆…課題のある点

4. 今後の指導改善策

【国語】

学習指導要領の 領域	指導改善策
話すこと 聞くこと	話し合いを通じて、互いの発言を検討し共通点や相違点を聞き分けたり、話題になっている物事について別の立場や視点から考えたりするように指導する。
書くこと	読み手に対して根拠がわかりやすく示されているか、伝えたい事柄にふさわしい語句や文の使い方ができているかを見直すよう指導する。
読むこと	課題の解決に必要な情報を集める方法を身に付け、資料を活用できる力を養うために、自ら課題を設定し、他者と相互に思考を深めたりまとめたりしながら解決するように指導する。
伝統的な言語文化と 国語の特質に関する 事項	事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるために、それぞれの語句が話や文章の中でどのように関連付けて使用されているか、辞書を活用し考える機会を意図的に設ける。

【数学】

学習指導要領の 領域	指導改善策
数と式	・事柄や数量の関係を文字式に表わすことができるようにするために、具体的な数を用いることでその関係に着目させ、数の関係を捉えさせ、文字式に表わす活動を行う。

図形	・証明の際，結論を導くために何がわかればよいかを明らかにしたり，与えられた条件を整理したり，着目すべき性質や関係を見だし，事柄が成り立つ理由を，筋道を立てて考える活動を行う。
関数	・与えられた x の変域から対応する y の変域を求めることができるようにするために，グラフを用いて変域を視覚的に捉える活動を行う。
資料の活用	・日常生活や社会の不確定な事象における問題を解決できるようにするために，具体的場面を通して，相対度数の意味の理解を深める活動を行う。

【学校としての取組み】

指導改善策
<p>○「めあて」と「まとめ」の整合性を図り、「振り返り」を充実させる</p> <p>○各単元において，書いたことを伝え合う場面を充実させる。</p> <p>○家庭学習を1時間以上行わせることを意識して，適切な宿題を提示する。</p> <p>○各教科において，意識的に発展的な学習や実生活における事象と関連を図った授業を行う。</p>

Ⅲ 学習状況調査の結果

1. 学習状況調査（生徒質問紙）の結果にみられる傾向

肯定的な回答の割合が、全国平均値よりも高かった項目
<p>(6) 自分には，よいところがあると思います。(＋17.8)</p> <p>(9) 将来の夢や目標を持っています。(＋13.4)</p> <p>(41) 人が困っているときは，進んで助けています。(＋9.2)</p> <p>(45) 「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは，普段の生活や社会に出たときに役に立つと思います。(＋13.7)</p> <p>(53) 1，2年生のときに受けた授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思います。(＋13.2)</p> <p>(54) 1，2年生のときに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思います。(＋30.5)</p> <p>(55) 1，2年生のときに受けた授業で扱うノートには，学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思います。(＋20.0)</p> <p>(56) 1，2年生のときに受けた道徳の時間では，自分の考えを深めたり，学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思います。(＋11.7)</p> <p>(59) 生徒の間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思います。(＋13.9)</p>

肯定的な回答の割合が全国平均値よりも低かった項目
(7) 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意です。(－7.0) (60) 授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか。先生に尋ねる。 (－8.3)

2. 生活習慣・学習環境などに関する改善のポイント

(1) キャリアカウンセリング（個人面談）を通して、起床時刻や学習を始める時刻など、「三点固定」を意識するよう指導する。
--

(2) 自主ノートについての型づくりや内容指導によって予習・復習を定着させる。

(3) 行事に向けて学級委員や実行委員などのリーダーを意図的に動かし、学級・学年の団結に向けた仕組みづくりを行う。また、学級での日々の目標達成に向けて、学活を利用して課題発見から改善までの取り組みを議論し、ふりかえりを継続的に行う。
--

(4) 各教科、道徳、学活、総合的な学習の時間を通して、自分の意見が持てるように問いかけの工夫や指導を行う。
--